

日本協同組合学会 Newsletter

Vol. 29 No. 3(通巻 78号)

2018年3月15日

～第37回春季研究大会&第38回大会(第1報)案内号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 田中 夏子
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階
日本協同組合学会事務局
TEL:03-6280-7254 FAX:03-3268-8761
E-mail:kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp
ホームページ: <http://www.coopstudies.com/>

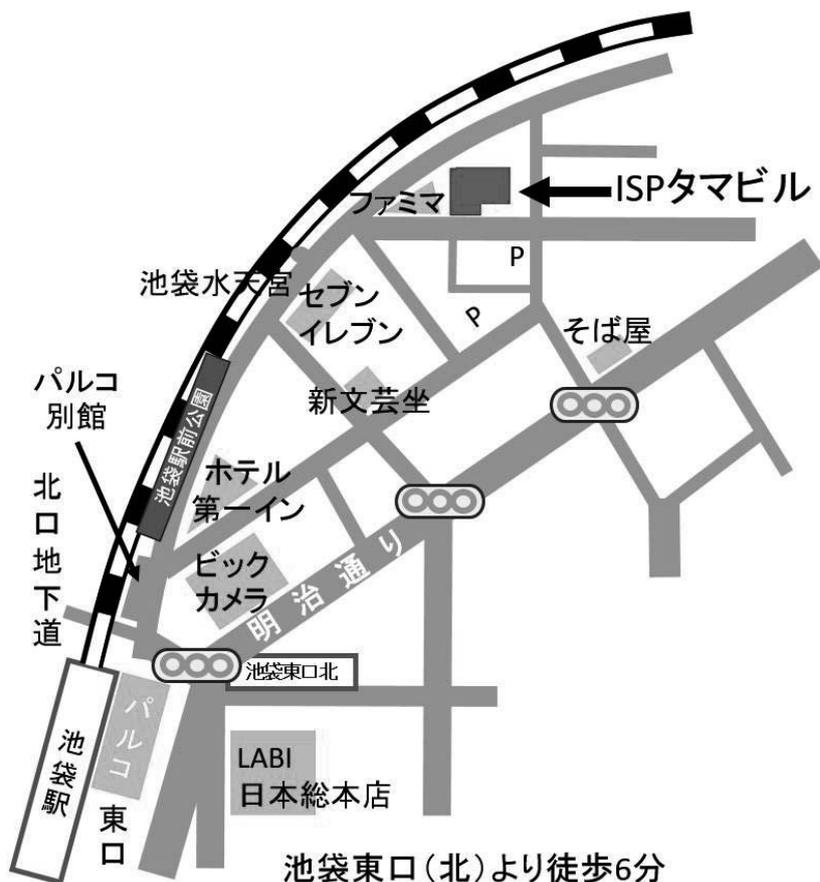
日本協同組合学会 第37回春季研究大会のご案内

開催日: 2018年5月12日(土)

会場: 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会8階会議室

(東京都豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル7F)

<最寄り駅からのアクセス>



<申込案内>

参加費：1,500円 ※非会員は2,000円

交流会参加費：一般会員3,000円 学生会員2,500円

※ 報告要旨集のみ希望者：1,800円（送料込、振込手数料はご負担ください。）

☆ 同封の参加申込ハガキに必要事項を記入の上、**4月20日（金）必着**で送付して下さい。
また、学会参加者・報告要旨集希望者は、必要な代金を下記口座に**5月2日（水）まで**に振り込んで下さい。

<昼食> 近隣にコンビニ等はございますが、

ワーカーズコープの食堂（800円）を会場横で運営しますので、
ご希望の方は、参加申込ハガキで、事前にお申し込みください。

※ 昼食と交流会につきましては、参加申込ハガキによる人数の事前把握にご協力ください。

※ 託児スペースを設置予定です。

<振込口座>

| | | |
|--------|-----------------|-------------------------|
| 郵便振替 | 加入者名：日本協同組合学会 | 口座番号：00140-5-557520 |
| 農林中央金庫 | 本店（958）日本協同組合学会 | 普通預金 / 口座番号：NO. 5026910 |
| 三井住友銀行 | 飯田橋支店 日本協同組合学会 | 普通預金 / 口座番号：NO. 7033961 |

<大会事務局> 協同総合研究所・相良孝雄

電話：03-6907-8033、090-4947-6980

メールアドレス：sgrtko@roukyou.gr.jp、kyodoken@jicr.org

第37回春季研究大会共通テーマ：協同組合と金融包摂

<ねらい>

本研究大会では「金融包摂」を中心テーマに据え、地域経済の衰退や生活困窮の広がりといった貧困・社会的排除問題に対する協同組合の役割や可能性について検討することを目的とする。

協同組合の歴史を遡れば、その多面的なルーツのひとつとして、ドイツに代表されるヨーロッパの信用組合、わが国における農村の信用事業など、貧困者（貧農）に対する協同組合による自助活動としての信用事業があげられる。それらはコミュニティを基盤とした「貧者の協同」による社会的連帯経済の重要な試みとして大きな役割を果たしてきた。折しも、本年は協同組合金融の祖であるライフアイゼンが生誕して200年を迎える。

そこで本大会では、シンポジウムに先立ち、村岡範男会員（元本学会長）に「ライフアイゼンの実践・思想から学ぶ協同組合金融の精神」と題する特別講演を頂き、午後のシンポジウムでは、近年の地域再生・生活困窮者問題に取り組む協同組織金融の実践を念頭に置きつつ、協同組合金融の基本精神と今日的役割について検討したい。

<タイムスケジュール>

9:30～ 受付（日本労働者協同組合連合会8階会議室横のフリースペース）

【午前の部】

10：00～10：10 開会あいさつ（学会長、大会実行委員長）

10：10～11：00 特別講演：ライファイゼン生誕200年企画

「ライファイゼンの実践・思想から学ぶ協同組合金融の精神」

村岡範男（酪農学園大学名誉教授、元日本協同組合学会会長）

【会員総会】11：00～12：00

【昼食】12：00～13：00

【午後の部】

13：00～17：30 大会シンポジウム「協同組合と金融包摂」

☆ 座長解題 ☆

2018年には、農村型信用組合の先駆者フリードリヒ・ヴィルヘルム・ライファイゼン（1818-1888）が生誕して200年を迎える。これを機に、金融における協同組合の今日的役割を改めて考えるというのが、今回のシンポジウムの趣旨である。

ライファイゼンは、高利貸しに搾取される農民を目の当たりにして、協同組合による自助を考え、信用組合の設立に至った。協同組合銀行、信用組合、信用金庫、労働金庫など、現在の協同組織金融機関はいずれも、こうした考え方を受け継ぎ、庶民や自営業者、零細事業者などによって設立され、相互扶助の精神で運営されてきた。

他方で、協同組織金融機関は社会から大きな課題をつきつけられている。ひとつは地域経済活性化である。信用金庫をはじめとする地域金融機関は、地域の自営業者や零細企業を支えながら、自らの経営基盤を強化する道筋を描けるのだろうか。

もうひとつは貧困対策である。多重債務者問題は今でも様相を変えながら続いているが、多重債務者や生活困窮者に寄り添って救済貸付を行う生協はごく限られている。

金融包摂という概念は、2000年代に入ってから世界的に注目されるようになった。自営業者や零細企業、多重債務者、生活困窮者など、銀行から排除されがちな存在に対して、適切な金融を提供することが求められているのである。

高利貸しから庶民を救うという信用組合の初志を想起しながら、今日の日本では協同組合が金融面でいかなる役割を果たしうるのかを、海外の事例もまじえながら検討したい。

13：00～13：20 座長解題 小関隆志（明治大学）

13：20～14：00 第1報告「協同組織金融と地域再生」長谷川勉（日本大学）

14：00～14：40 第2報告「協同組合銀行と金融包摂」重頭ユカリ（農林中金総合研究所）

14：40～15：20 第3報告「協同組織金融による困窮者支援」角崎洋平（日本福祉大学）

（休憩）

15：30～15：50 コメントー実践報告を中心に（1）菅原務（気仙沼信用金庫）

15：50～16：10 コメントー実践報告を中心に（2）山際淳（日本生活協同組合連合会）

16：10～17：10 全体討論

17：10～17：30 座長まとめ

【交流会】18：00～20：00（日本労働者協同組合連合会8階会議室横のフリースペース）

※タイムスケジュール、報告者のタイトル等が少し変更する場合があります。
学会HPに掲載しますので、ご確認ください。

◇ 会員総会

日 時：2018年5月12日（土）11：00～12：00

会 場：日本労働者協同組合連合会 8階会議室

主な議題：

- 1) 2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）事業報告および決算報告
- 2) 2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）事業計画および予算計画
- 3) 会則の変更について
- 4) その他

◇ 第19期第2回理事会

下記のとおり理事会を開催しますので、ご出席ください。

- ・日時：2018年5月11日（金）18：00～20：00
- ・場所：日本労働者協同組合連合会 8階会議室

主な議題：

- 1) 会員総会での提案事項について
- 2) 第38回大会（弘前大会）の内容について
- 3) その他

新理論研究会のご案内

日 時：2018年3月29日（木）18：00～20：30

場 所：キャンパスプラザ京都（第2-3 演習室：60人収容）※京都駅徒歩5分

テーマ：『農協改革』をめぐる一協同組合の存在意義を問う一

趣旨：「農協改革」をめぐる経過、農協（JAグループ）が取りくもうとしている「自己改革」の現状を共有し、課題を明らかにする。その上で、「農協改革」の問題が協同組合に投げかけている論点、および学会として今後議論すべき制度としての協同組合の限界を突破する実践論理の構築に向けての課題、等についてフリートーキングを行う。

プログラム：

話題提供

増田 佳昭（滋賀県立大学）『農協改革』をめぐる経過と『自己改革』の取り組み課題

コメンテーター ～ 『農協改革』問題、こう考える～

杉本 貴志（関西大学）／瀬津 孝（農業開発研修センター）／辻村 英之（京都大学）／

青木 美紗（奈良女子大学）

フリートーキング コーディネーター 北川 太一（福井県立大学）

※参加費：1,000円（資料代）

学生会員でない方でも自由に参加できます。（事前申込み不要）

第 38 回大会(弘前大会)の開催について(第1報)

※ 詳細が決まり次第、順次、学会 HP で掲載していきますのでご確認ください。

日 時：2018年9月28日(金)～30日(日)

場 所：弘前大学農学生命科学部

実行委員長：石塚 哉史 事務局長：成田 拓未

プログラム(予定)

- | | | |
|----------|----|-------------------|
| 9月28日(金) | 午後 | エクスカージョン |
| | 夜 | 理事会 |
| 9月29日(土) | 午前 | 個別報告・テーマセッション |
| | 午後 | 大会シンポジウム 交流会など |
| 9月30日(日) | | 地域シンポジウム |

★例年、9月下旬～10月は紅葉シーズンですので、宿泊、旅券等の手配はお早めをお願いします。

★託児スペースの設置については調整中です。

第 38 回大会「個別論題報告」および「テーマセッション」の募集について

9月29日(土)午前9:00～12:00に、個別論題報告およびテーマセッションが行われます。多数の応募をお待ちしています。

【報告者の会員資格および会費の納入について】

①単独報告の場合

エントリーの時点で、本学会の学会員である(新入会員の場合は、入会申込みを行っている)ことが条件です。会費を滞納されている方は、速やかに納付をお願いします。

②複数人数(連名)による報告の場合

エントリーの時点で、筆頭報告者が本学会の学会員である(新入会員の場合は、入会申込みを行っている)ことが条件です。会費を滞納されている方は、速やかに納付をお願いします。筆頭報告者以外は学会員である必要はありませんが、できる限り入会をお願いします。

【提出の締め切り・方法】

個別論題報告・テーマセッションともに、締め切り日は次のとおりです。テーマセッションについては、各報告の要旨に加えてセッション全体の解題も下記の個別報告要旨原稿の書式に従って提出してください。

報告テーマおよび報告要旨の提出期限 締切：6月29日(金)(厳守)

※ 報告テーマと報告要旨を同時に提出していただきますのでご注意ください。

報告テーマおよび報告要旨の提出先

〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レイナービル5階
日本協同組合学会事務局

TEL:03-6280-7254 FAX:03-3268-8761 E-mail:kyodo-gakkai-ronbun@jc-so-ken.or.jp

【申し込み要領】

次ページ以降のフォーマットに従い電子メールで応募してください（6月29日（金）必着）。

【個別報告要旨原稿の書式】

次の書式に従って原稿を作成し提出してください。準じていない場合は、受け付けられない場合があります。

- ① 1題につきタイトルも含めてA4版で1枚（厳守）
- ② タイトル：16ポイント、太字、英数字は半角、中央揃え
- ③ 氏名：12ポイント、MS明朝、太字、右揃え
- ④ 所属機関：12ポイント、MS明朝、太字、右揃え
- ⑤ 本文：所属機関より1行明けて書く。10.5ポイント、MS明朝、英数字は半角、句読点「、」（[全]句点）「。」（[全]読点）
- ⑥ 本文：和文は1,302字（42字×31行）、英文は400語（図表は、字数に含める）
- ⑦ マージン：上下20mm、左右22mm以上とる。

※個別論題報告およびテーマセッションの要旨につきましては、紙媒体での要旨集の作成は行っておりませんのでご了承ください。グルーピング等の後、学会のWebサイトにて公開をいたしますので、そちらをご参照ください。

日本協同組合学会 第38回大会

選択する項目については、あてはまる方に○をつけてください。

個別論題報告 2018年 月 日申し込み

| |
|---|
| 報告タイトル： |
| 報告の種別： <input type="checkbox"/> 個別論題報告 <input type="checkbox"/> テーマセッション内報告 |
| 報告者 <small>または</small> 筆頭報告者氏名： _____ 会員番号： _____ |
| 所 属： _____ |
| 住 所： _____ |
| 電 話 番 号： _____ Mail： _____ |
| ※ 必ず連絡が取れる電話番号をお願いします。 ※ 連名で報告を行う場合は下記にご氏名、会員番号、所属をお書きください。↓ |
| 報告者氏名： _____ 会員番号： _____ |
| 所 属： _____ |
| 報告者氏名： _____ 会員番号： _____ |
| 所 属： _____ |
| 報告者氏名： _____ 会員番号： _____ |
| 所 属： _____ |
| パワーポイント使用 <input type="checkbox"/> 使う <input type="checkbox"/> 使わない |
| 次の質問にご回答ください。 ※ 「いいえ」がある場合には、申し込みを受け付けない場合がありますので、ご注意ください。 |
| ①報告者（連名の場合は、筆頭報告者）は会員ですか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ |
| ②報告者（連名の場合は会員の連名報告者全員について）は今年度の会費納入はお済ですか？ <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ |

日本協同組合学会 第 38 回大会

テーマセッション 2018 年 月 日申し込み

※各報告につき1枚ずつ、前ページ「個別論題報告」申し込み用紙を提出してください

セッション タイトル：

座長氏名： _____ 会員番号： _____

座長は、学会に委任します。（ ） 委任する場合は○を入れてください。

代表者氏名： _____ 会員番号： _____

所 属： _____

住 所： _____

電 話 番 号： _____ Mail： _____

必ず連絡が取れる電話番号をお願いします。

【タイムテーブルとテーマセッション報告者】

(代表者を含め、セッション内の報告順にご記入ください。)

①氏名： _____ 会員番号： _____ 所属： _____

②氏名： _____ 会員番号： _____ 所属： _____

③氏名： _____ 会員番号： _____ 所属： _____

④氏名： _____ 会員番号： _____ 所属： _____

⑤氏名： _____ 会員番号： _____ 所属： _____

⑥氏名： _____ 会員番号： _____ 所属： _____

⑦氏名： _____ 会員番号： _____ 所属： _____

次の質問にご回答ください。

※ 「いいえ」がある場合には、申し込みを受け付けない場合がありますので、ご注意ください。

①代表者は会員ですか？ はい いいえ

②代表者は今年度の会費納入はお済ですか？ はい いいえ

2018 年度学会賞(「学術賞」「奨励賞」「実践賞」)の推薦について(再掲)

学会賞の推薦をお願いいたします。詳細は以下の通りです。

- 推薦期間：2018年1月から2018年6月30日(土)までの6ヶ月間。
- 推薦対象(詳細は、「学会賞表彰規程」「同細則」をご覧ください)
 - 学術賞：本学会に5年以上継続して所属している会員。同じ条件を満たす共同研究グループが受賞者となる場合は、賞の名称を「共同研究学術賞」とする。
 - 奨励賞：本学会に3年以上継続して所属する40歳未満の会員。
 - ※学術賞、奨励賞は、2018年6月末日に至る3年6ヶ月間に刊行された著書、論文、またはそれに準ずるもので、共同研究(共著論文)、シリーズ論文、翻訳書及び研究資料(いずれも優れた解題論文を含むもの)も選考の対象となる。
 - 実践賞：協同組合の発展に貢献し得る優れた実践及びその記録。
- 推薦方法：2名以上の本会普通会員の連名による推薦を得る。選考対象の研究業績の現物、著者または代表者の業績一覧及び履歴書各1部を添えて推薦状を提出する。推薦する場合には、学会事務局(JC総研)に連絡のうえ、所定の推薦書様式を入手して下さい。

会員メーリングリストへの登録のおさそい

当学会では、会員間の情報交換、学会からのお知らせ等のためのメーリングリストを開設しております。メーリングリストへの登録をご希望の方は、kyodo-gakkai@jc-so-ken.or.jp へご連絡ください。

会費納入のお願い

2017年度までの会費未納の方は納入をお願いいたします。本ニュースレターに会費の振込み用紙を同封致します。学会の研究活動促進のためにも、会費未納の方は速やかに納入していただくことをお願い致します。会費は年6,000円、学生会員は3,000円です。

なお、既に会費納入されている方はご容赦ください。ご不明な点がございましたら、事務局へお問い合わせください。

| | | |
|--------|-----------------|-------------------------|
| 郵便振替 | 加入者名：日本協同組合学会 | 口座番号：00140-5-557520 |
| 農林中央金庫 | 本店(958)日本協同組合学会 | 普通預金 / 口座番号：NO. 5026910 |
| 三井住友銀行 | 飯田橋支店 日本協同組合学会 | 普通預金 / 口座番号：NO. 7033961 |

★ 会則第6条により、会費を3年以上滞納すると会員の資格を失うことになりますので、ご注意ください。